

発行—2020年3月1日

<http://gdtk.lib.gunma-u.ac.jp>

編集—群馬県大学図書館協議会「会報」編集委員会 前橋市荒牧町4-2(群馬大学総合情報メディアセンター内) TEL.027-220-7180

PHOTO SPOT
育英大学・育英短期大学 図書館

当館では、「学ぶ図書館 楽しむ図書館」をコンセプトとし、学生に図書館に関心をもってもらうための様々な企画展示や、催しを行っています。恒例の企画展示として「しかけ絵本展」、「新聞で振り返る 東日本大震災」等を実施しています。また、募集企画「読書推進コンクール」も、毎年実施しています。今年度は、児童文化の発表会「本の森につどうとき」が館内で2回開催されました。また、学園祭でのヘルマンハーブ部の演奏会も毎年恒例となっています。限られたスペースを有効活用して、来るだけで何かしら受け取るものがあるような、足を運びたくなるような図書館を目指して、日々、試行錯誤を続けています。

CONTENTS

■ 研究会報告 令和元年度第1回大学図書館研究会	2
■ トピックス	10
■ 編集後記	11

研究会報告

大学図書館研究会・群馬県図書館協会専門研修 (群馬県大学図書館協議会・群馬県図書館協会 共催)

○令和元年度第1回

日時：令和2年1月30日(木) 13時30分～16時00分

場所：群馬県立図書館 3階研修室

参加者：32名(大学図書館16名、公立図書館15名、一般1名)

講演：「オープンサイエンス、次期JAIRO Cloudの状況について」

オープンアクセスリポジトリ推進協会人材育成作業部会・横浜国立大学 安達修介氏

ワークショップ：「JAIRO Cloud移行作業デモ」

オープンアクセスリポジトリ推進協会人材育成作業部会・上越教育大学 下城陽介氏

【概要】

県内大学等20機関が参加し、学内の研究成果等を無料公開する「群馬県地域共同リポジトリAKAGI」が2021年度末をもってサービスを終了することになり、今後は機関ごとにリポジトリを構築する必要があります。2020年10月から提供される新たなリポジトリシステム「新JAIRO Cloud」への移行を見据え、オープンアクセスリポジトリ推進協会(JPCOAR)から安達修介氏、下城陽介氏の2名を講師にお招きし、リポジトリを取り巻く最新動向の紹介と、現行JAIRO Cloudへの移行作業デモを行うワークショップを実施しました。移行作業デモでは、具体的な移行手順の説明や実際の作業に使用するエクセルデータを表示しながら実演が行われ、参加者は、質問を交えて少しずつ理解を深めながらリポジトリ移行のイメージを掴んでいきました。

なお、本研究会は第17回群馬県図書館大会第2分科会として開催されました。



会場・群馬県立図書館



講師の安達氏と下城氏



会場の様子

【参加者の意見等】

- 現在課題となっているテーマであり、とても役に立ちそう。
- 今後移行をどのように進めるか悩んでいたため、こういう機会はありがたかった。
- マニュアルを読むだけではつかめないイメージをつかむことができ助かった。なんとかできそうな気がしてきた。
- 具体的な話が聞けてとても参考になった。
- 分かりやすく説明していただき、不安が少し軽くなった。

等の意見が寄せられ、有意義な研修となりました。

研究会資料(1)

オープンサイエンス、次期JAIRO Cloudの状況について 安達修介氏

第17回群馬県図書館大会 第2分科会

オープンサイエンス、 次期JAIRO Cloudの状況に ついて

1

1.オープンサイエンス

2

オープンサイエンスとは何か？

- 「基本的にはデジタル時代に鑑み、これまで以上にオープンで、多様な可能性をもって行うことができるようになった研究活動の諸側面を総称」/「極めて曖昧で何を指しているのか漠然として」いる
—国立情報学研究所オープンサイエンス基盤研究センター「オープンサイエンス概要」 <https://rccos.nii.ac.jp/openscience/>
- 「研究データのオープン化の理念と、従来の論文のオープンアクセス化の理念を包含する（中略）概念」/「定義はまだ明確には定まって」いない
—東京大学附属図書館「オープンアクセスハンドブック（第2版）」 <http://hdl.handle.net/2261/72694>

3

FAIR原則

- データの適切な公開方法を示す原則の1つ。
 - ① To be FINDABLE（見つけられる）
 - ② To be ACCESSIBLE（アクセスできる）
 - ③ To be INTEROPERABLE（相互利用できる）
 - ④ To be RE-USABLE（再利用できる）<https://www.force11.org/group/fairgroup/fairprinciples>
- オープン化の焦点は、研究成果である発表論文のオープンから、その前段階である研究データに移ってきている。

4

研究データ公開の意義①： 研究公正

- 研究データの公開が求められる大きな理由の1つは、研究の公正さを保つこと。研究データを公開することで、研究成果を検証し、研究を再現可能とする。
- 既に、研究費の助成の条件として研究データの適切な公開を掲げている機関も出てきている。

5

研究データ公開の意義②： 研究データのライフサイクル

```

    graph TD
      A[生成] --> B[加工]
      B --> C[分析]
      C --> D[保存]
      D --> E[公開]
      E --> F[再利用]
      F --> A
  
```

6

*The UK Data Service, Research data lifecycle <http://www.data-archiv.ac.uk/create-manage/use-cycle>
 *Muriette van Seim, RDM Support - basic training course for information specialists <http://dx.doi.org/10.6084/m9.figshare.1285313>
 を元に加工

研究会資料(2)

市民科学 (シチズンサイエンス)

- 情報源・資金源のオープン化により, 市民が学術研究に関わる機会が拡大。
 - オープンアクセス
 - オープンデータ
 - クラウドファンディング
- 担い手が増える/研究の裾野が広がる
- 非専門家が参加しやすいように整備することで, 専門家も研究がしやすくなる。

市民科学の事例



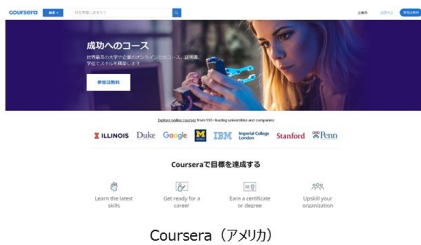
みんなて翻刻 (日本)



Zooniverse (アメリカ)

教育活動のオープン化

- MOOCsやOpen Educational Resourcesの発展
- オープンアクセスデジタル教科書



Coursera (アメリカ)

図書館に期待されていること①

- 研究データの適切な管理
 - 実際にデータ管理の依頼が来ている事例も既にあり。時には数百GB～数TBのデータ管理を頼まれることも
- 研究データの適切な公開・流通促進
 - 流通促進には「機械に読んでもらう」ことが重要。適切なメタデータ付与・キュレーションが不可欠
 - 教員の中には、自分が使わなかった/使えなかったデータを公開し、そのデータを使って研究してもらうことで新たな研究成果が生まれることを期待している人も

図書館に期待されていること②

- オープンな研究の環境整備
 - 情報インフラの構築や維持にはある程度のノウハウがあり, 重要な役割を果たすことが見込める

JPCOARの活動①




コンテンツの流通促進




広報誌の発行

研究会資料(3)

JPCOARの活動②



研修会の開催



トレーニングツールの開発
JPCOAR研究データフォーラム 教材「研究データ管理サービスの設計と実践」
<http://rd.nii.ac.jp/1458/00000107/>

JPCOARウェブサイト: <https://jpcoar.repo.nii.ac.jp/>

2.次期JAIRO Cloud

次期JAIRO Cloudへのリプレイス

- JAIRO Cloudは550以上の機関にリポジトリ環境の提供を行っているクラウドサービス。2020年10月、次期システムへの移行を予定している。
※次期システムへは自動移行
- 研究成果の「共有」から「活用」を目指す。
- 2019年9月～12月にJPCOARコンテンツ流通促進作業部会を中心として移行実証実験を行い、新環境・機能の検証やブラッシュアップをした。

次期JAIRO Cloudの特徴① 操作性の向上



ワークフローによるアイテム登録機能
(画面はアイテム登録の様子ではなく、ワークフロー設定の様子)



ウィジェットによる画面デザイン機能

図は右に新田 (2019) 「新JAIROCloud (WEKO3) への移行実証実験報告」
<http://rd.nii.ac.jp/1458/00000179/>

次期JAIRO Cloudの特徴② 多様なコンテンツへの対応

- 柔軟なメタデータ表現を確保
- 大容量のアップロード・ダウンロード機能
- JPCOARスキーマへの対応

次期JAIRO Cloud説明会

- 日時: 2020年3月6日(金) 13:00~16:30
- 会場: 国立情報学研究所12F
- 参加費: 無料
- 動画配信 & 公開: あり(予定)

https://jpcoar.repo.nii.ac.jp/?page_id=49#_href_422

研究会資料(4)

参考資料

19

- 杉田,茂樹(2019)「欧州研究大学連盟「オープンサイエンスが大学に果たす役割」を読む」
http://hdl.handle.net/10091/00021786
- 小野,英理(2019)「オープンサイエンス的市民協働のために大学ができること」
https://www.nii.ac.jp/sparc/event/2019/pdf/20191024_1.pdf
- 林,正治(2018)「次期JAIRO Cloud(WEKO3)の開発状況」
https://www.nii.ac.jp/event/upload/libfair2018_forum2_3.pdf
- 前田,朗(2019)「新JAIROCloud(weko3)への移行実証実験報告」
http://id.nii.ac.jp/1458/00000182/

20

DSpaceからJAIRO Cloudへの移行手順説明 下城陽介氏

令和2年1月30日(木)
第17回群馬県図書館大会 第2分科会

DSpaceから
JAIRO Cloudへの移行
手順説明

上越教育大学附属図書館 下城 陽介
Mail : shimojo@juen.ac.jp
Tel : 025-521-3606

1

□ 移行の実際

詳しくは,
「JAIRO Cloudコミュニティーサイト」の
移行マニュアル類をご参照ください。

https://community.repo.nii.ac.jp/?action=repository_opensearch&index_id=50&count=20&order=17&pn=1

2

□ 移行の実際

- ① マニュアルの読み込み
- ① Linuxサーバの環境設定
- ② プログラムのインストール
- ③ プログラムの実行
- ④ データ転送 ↑ここまでは群馬大学さんが実施済み。
- ⑤ メタデータのマッピング
- ⑥ 本番用データの一括登録

3

□ 移行の実際

① マニュアルの読み込み

→1ヶ月程の時間をかけて、マニュアルを読み込みました。

理解できませんでしたが、読み進めていく内に、作業行程は多くないぞ、ということに気がきました。

4

研究会資料(6)

移行デモ

大学に帰っても使えるように、本日のデモでは必要ないところも、記述してあります。

詳細な移行マニュアル類は下記をご参照ください。

https://community.repo.nii.ac.jp/?action=repository_opensearch&index_id=50&count=20&order=17&pn=1

1

0. デモの流れ

1. SCfW (一括登録するためのプログラム) のインストール
2. DSpaceからWEKO2へのマッピング表を作る。
3. Excelデータのクレンジング (手持ちのメタデータをクレンジング) をする。
4. SCfWフィルタをPCに仕込み、フィルタの修正をする。
[今回は時間が無いので紀要論文のみ。]
5. SCfWフィルタをPCに仕込んで、実際にデータロードをする。
6. 全員で移行結果について評価を行い、問題点については修正する。

2

1. SCfW (一括登録するためのプログラム) のインストール

1. [http://weko.at.nii.ac.jp/?page_id=47#_56] より最新版のSCfWをダウンロードする。
2. SCfW_v0-0-0-0.zipを解凍する。
3. フォルダに入っている「SWORDクライアントインストールマニュアル」に従って、インストールする。
4. JAIRO Cloud事務局からメールで送られてくる「ID/パスワード」でログインする。

3

2. DSpaceからWEKO2へのマッピング表を作る

1. 群馬大学さんからもらったデータ「item001」フォルダの「metadata.tsv」をエクセルで開き、エクセルで保存する。[SCfW変換フィルタ編集マニュアル (移行機関向け)]
2. 「metadata.xlsx」を見ながら、「DSpaceマッピング設定20170530.xlsx」のメタデータ変更設定の黄色部分を変更する。

4

3. Excelデータのクレンジング

1. 「metadata.xlsx」の間違って入っているメタデータを修正する。
2. 著者に団体名があるときは、たとえば「上越教育大学、」のようにしておく (SCfWが適当なところで姓名に分けてしまうため)。
3. POS_INDEXの「<~000~>●●大学 (●● University) /」を削除する。列を挿入し、
[=REPLACE(AN2,1,31,"")] =AN2の1文字目から5文字目を空 (“何も無し”) にする (文字列になっているので、標準にしてから実行する)。

5

4. SCfWフィルタをPCに仕込み、フィルタの修正をする。

1. SCfWフィルタ (DSpace.wdcf) を `C:\Users\Y<ユーザ>\AppData\Roaming\SCfW\filters` (隠しフォルダになっています) にセットする。
2. 「SCfW変換フィルタ編集マニュアル (移行機関向け)」に従って、SCfWフィルタを編集する。

※「紀要論文/Departmental Bulletin Paper_2」のようにならないように、一番始めに「フィルタ更新」をすると良い。

※「エクセルの1行目」、「フィルタ」、「JAIRO Cloud本体」の3カ所のメタデータ項目が揃っていないと、枝番 (_2) が付いてしまいます。

6

研究会資料(7)

5. SCfWフィルタをPCに仕込んで、実際にデータロードをする。

1. スタートメニューからSCfWを起動し、ログインする。
2. メタデータ (metadata.xlsx) とフィルター (DSpace) を選んで、Deposit
3. エラーが出たら、エラー対応をする。詳しくはSWORD Client for WEKO ユーザ利用手引書 (<https://meatwiki.nii.ac.jp/confluence/pages/viewpage.action?pageId=19432912>) を参照する。

7

代わりに

本日作成した「metadata.xlsx」・「DSpaceマッピング設定20170530.xlsx」・「SCfWフィルタ (DSpace.wdcf)」は群馬大学の山内さんお渡ししておきます。

※注意

本番環境でテストする際は、**metadata.xlsx**の「WEKO_URL」列は列ごと削除してからご利用下さい (テスト環境のURLが入っているため)。

8

おまけ

移行実験したときのエラー(error)一覧

1. アイテムタイプがありません。
2. 出版日付が正しくありません。
3. Languageが正しくありません。

注意(warning)一覧

1. 著者名の分かち書きが正しくできなかった可能性があります。
2. CNRIが設定されていません (群馬大学さんのみ必要)。

9

おまけ

1. アイテムタイプがありません。

エクセルの1行目「WEKOアイテムタイプ」を「アイテムタイプ」に直す。

注意

本番環境では「WEKOアイテムタイプ」で大丈夫だと思います。

10

おまけ

2. 出版日付が正しくありません。

エクセルの「dc.date.issued」の列にを修正する。

例)

1988-02-54

→ 1988-02-28とか1988-02とかに修正。

11

おまけ

3. Languageが正しくありません。

エクセルの「dc.language.iso」の列にを修正する。

例)

ja → jpn

en → eng

空白 → jpnとかengとか

12

トピックス

学園祭@育英大学・育英短期大学図書館

今年度の学園祭(桔梗祭)では、毎年恒例の企画展示「しかけ絵本展」と「新聞で振り返る 東日本大震災」と、ヘルマンハーブ部による演奏会を実施しました。「新聞で振り返る 東日本大震災」では、今回初めて、来場者の方を対象に、震災当時の体験や防災対策についてのアンケートを行い、市民の皆さんの災害や防災への関心の高さを知ることが出来ました。ヘルマンハーブ部の演奏会は、用意した座席がほぼ満席になる盛況ぶりでした。



ヘルマンハーブ部



しかけ絵本展



新聞で振り返る東日本大震災

トピックス

学園祭@群馬大学総合情報メディアセンター理工学図書館

2019年10月19日、群馬大学理工学部の学園祭「群桐祭」開催に合わせて、ブックリユース市を開催しました。学内の教職員に不要な私物図書の提供を依頼し、一般市民に無償提供するイベントで、今年で4年目となります。今年も開始時間前に10人以上が並ぶ人気ぶりで、開始と同時に多くの市民が熱心に本を選んでいました。

群桐祭では、ブックリユース市だけでなく、小さいお子さん連れの家族が休憩できるキッズスペース、授乳室も設けています。今後も、学園祭では、普段は来館されない一般市民の皆様当館に親しみを持っていただけるような企画を実施したいと思います。



ブックリユース市



キッズスペース

トピックス

共愛学園前橋国際大学図書館

図書館ボランティアの活動について

本学の図書館ボランティアは、「図書館を元気にしたい」という学生からの思いで発足しました。今年で7年目になります。この図書館ボランティアの活動については、図書館としては学生の自発的な活動を大切にしたいと思っており、細かい指示を出すようなことは控えております。実際、所属する学生によって活発な年もあれば大人しい年もありますが、学生達が自分達で考えて「こういうことがしたい」と提案してくる活動をできる限り支援するというスタンスをとっています。

2019年度の図書館ボランティアの学生は、初の試みとなる共愛小学校アフタースクールでの読み聞かせという企画を立てました。夏休みの期間を利用し、学生自らが小学校への連絡から当日の運営まで色々と考え、動いて実現させていきました。初めてのことで、色々と課題が見えたようですが、児童の皆さんやアフタースクールのスタッフの方々に「また来てね」というお声をいただき、本人達には大きな学びとなったようで、今年の3月にまた読み聞かせを行う企画を立てているようです。

この3月には、今まで活動していた学生達が卒業していき、新年度からはメンバーが3名のみという少し寂しいスタートとなりますが、これからどんなメンバーが加わり、どのような活動をしていってくれるのかを楽しみに見守っていきたいと考えております。



編集後記

新型コロナウイルスが拡大している影響で、3月に予定していた研究会が残念ながら中止となりました。県内大学図書館でもイベントを中止したり、臨時閉館するところも出てきました。また受験生は、混乱の中で入試を迎え、卒業式や入学式が簡略化され、せつかくの春休みも出かけられずに不安な日々を過ごしていると思います。一日も早く事態が収束し、楽しい新生活が送れることを願わずにはいられません。期待に目をキラキラさせた新入生をお迎えできる日を、いち大学職員として楽しみにしています。